2026年11月12日



カメイ

2027年3月期第2四半期

決算補足説明資料

カメイ株式会社

東証プライム 8037

01　2027年3月期
第2四半期実績

KAMEI



© KAMEI CORPORATION.

2027年3月期第2四半期　決算のポイント：増収増益　過去最高益を更新

売上高　：　2,929億円（前同比 ＋9.2%）　修正予想*比 ＋3.5%　過去最高を更新
営業利益：　98億円（前同比 ＋38.3%）修正予想*比 ＋3.3%　過去最高を更新

事業動向

売 上 高：主にエネルギーの販売価格上昇により、過去最高の売上高を更新

営業利益：エネルギーが石油・LPガス販売共に増益となり、過去最高益を更新
エネルギー以外のセグメントは、前年同期比で減益

トピックス

【グループ筋肉質化】

・８月に、国内でワイン輸入販売を手掛けるアグリ㈱を営業終了、清算へ
・８月に、ベトナムでワイン輸入販売を手掛ける関係会社グループ（４社で構成）を営業終了、清算へ

* 2026年8月6日公表

2027年3月期第2四半期　業績ハイライト:　売上高、利益ともに過去最高を更新

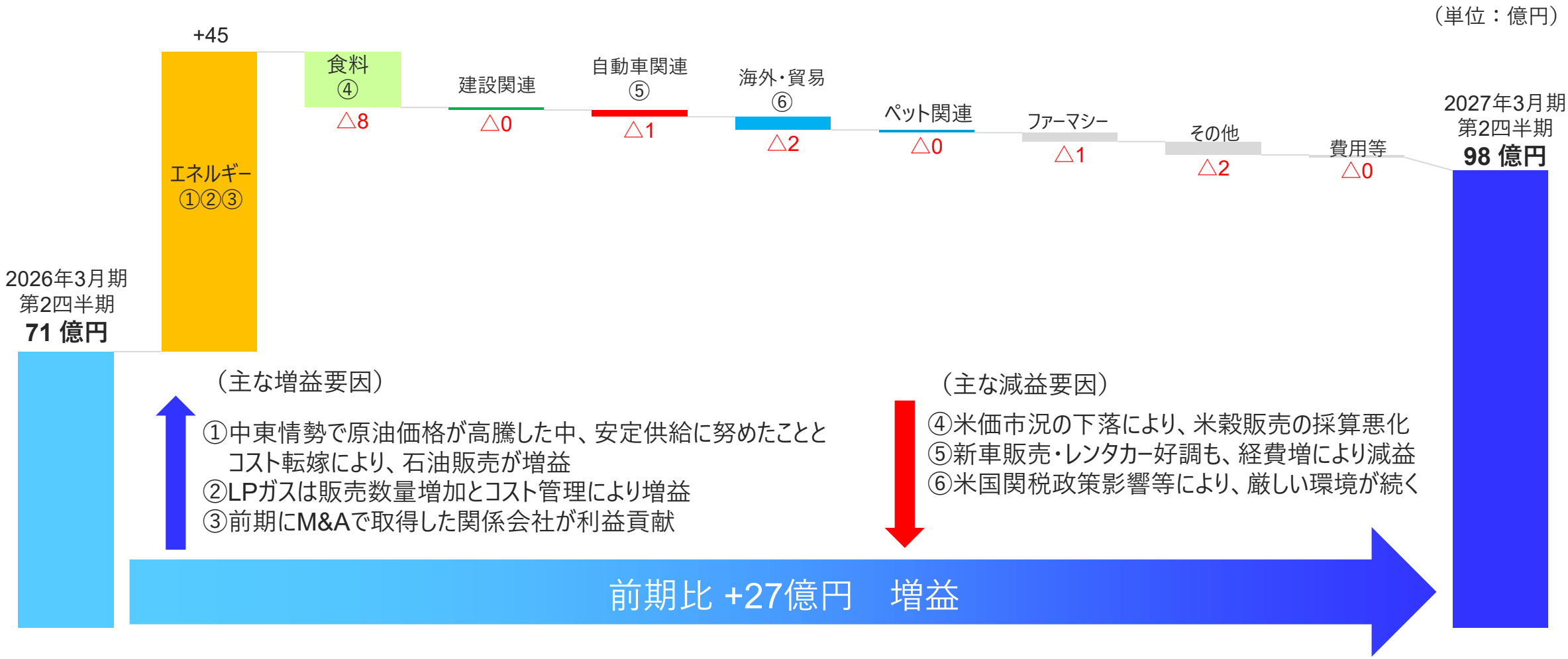
- 売上高2,929億円（前同比＋9.2%）、営業利益98億円（前同比＋38.3%）
- 収益性も改善（営業利益率2.7%⇒3.4%、経常利益率2.9%⇒3.6%）

	2026年3月期		2027年3月期				
（単位：億円）	第2四半期実績	対売上比率	業績予想（2026/8/6公表）	第2四半期実績	対売上比率	前年同期比	予想比
売上高	2,683	－	2,831	2,929	－	+246　+9.2%	+3.5%
売上総利益	468	17.5%	－	519	17.7%	+50　+10.8%	－
販売費及び一般管理費	397	14.8%	－	420	14.4%	+23　+5.9%	－
営業利益	71	2.7%	95	98	3.4%	+27　+38.3%	+3.3%
経常利益	76	2.9%	104	104	3.6%	+28　+36.5%	+0.7%
親会社株主に帰属する中間純利益	47	1.8%	64	67	2.3%	+20　+42.4%	+4.3%

© KAMEI CORPORATION.

2027年3月期第2四半期　営業利益の増減要因（前同比）

エネルギーセグメントが大幅増益。エネルギー以外のセグメントは前年同期比で減益。



2027年3月期第2四半期　各報告セグメントの動向

単位：億円		2026年3月期 第2四半期 実績	2027年3月期 第2四半期 実績	前年同期比		通期予想 (2026/8/6公表)	進捗率	要因（コメント）
合計	**売上高**	**2,683**	**2,929**	＋246	＋9.2%	6,249	46.9%	主にエネルギーの販売単価上昇により、過去最高更新 エネルギーが大きく増益となり、過去最高益を更新
	営業利益	**71**	**98**	＋27	＋38.3%	178	55.0%	
エネルギー	売上高	**1,200**	**1,407**	＋207	＋17.3%	3,074	45.8%	中東情勢で原油価格が急騰した中、安定供給に努めた こととコスト転嫁により、石油・ガス共に増益
	セグメント利益**	**18**	**64**	＋45	＋240.6%	–	–	
食料	売上高	**190**	**188**	△1	△1.0%	393	47.9%	米価市況の下落により、米穀販売の採算が悪化
	セグメント利益**	**4**	**△4**	△8	–	–	–	
建設関連	売上高	**249**	**237**	△12	△5.0%	566	41.9%	総利益率は改善傾向だが、工事物件の完工が 前同比で減少し、減収減益
	セグメント利益**	**6**	**6**	△0	△5.9%	–	–	
自動車関連	売上高	**397**	**416**	＋19	＋4.8%	819	50.8%	新車販売・レンタカー共に好調で増収となるも、 経費増により、営業利益は前年には届かず
	セグメント利益**	**27**	**25**	△1	△6.5%	–	–	
海外・貿易	売上高	**420**	**457**	＋36	＋8.7%	949	48.2%	インフレと円安効果で売上高は伸長 米国関税政策影響等により、厳しい環境が続く
	セグメント利益**	**23**	**20**	△2	△11.4%	–	–	
ペット関連	売上高	**77**	**81**	＋4	＋5.7%	152	53.8%	売上高は前年を上回るも、原価と経費の増加により減益
	セグメント利益**	**1**	**0**	△0	△38.4%	–	–	
ファーマシー	売上高	**98**	**96**	△2	△2.0%	196	49.5%	不採算店舗の整理により、前同比減収
	セグメント利益**	**△0**	**△2**	△1	–	–	–	
その他＊	売上高	**48**	**43**	△5	△10.3%	100	43.5%	オフィス関連売上高の減少等により減収減益
	セグメント利益**	**5**	**2**	△2	△52.6%	–	–	
全社費用		**△15**	**△15**	△0	–	–	–	ほぼ前年並み

＊ オフィス関連商材の販売、運送業、不動産賃貸業 等　　**セグメント利益又は損失は調整額控除前

© KAMEI CORPORATION.

貸借対照表：売上債権、有利子負債が減少　自己資本比率は50％台で推移

- エネルギー事業の売掛金の回収などにより、売上債権は前期末から減少
- 有形固定資産は自動車事業の店舗新改築により増加
- 有利子負債は返済が進み減少

資産の部

（単位：億円）	2026年3月末	2026年9月末	前期末増減
流動資産	1,882	1,870	△12
現金及び預金	685	814	128
受取手形、売掛金及び契約資産	**702**	**596**	**△106**
商品及び製品	333	316	△16
固定資産	1,428	1,466	38
有形固定資産	1,062	1,071	9
無形固定資産	48	44	△4
投資その他の資産	317	350	33
資産合計	3,310	3,336	26

負債･純資産の部

（単位：億円）	2026年3月末	2026年9月末	前期末増減
流動負債	1,163	1,106	△56
支払手形及び買掛金	547	514	△32
短期借入金	**326**	**284**	**△42**
固定負債	364	362	△1
長期借入金	**43**	**38**	**△5**
純資産	1,783	1,868	84
株主資本	1,528	1,600	72
その他の包括利益累計額	207	247	39
負債純資産合計	3,310	3,336	26

© KAMEI CORPORATION.

02　2027年3月期
業績見通し



KAMEI

© KAMEI CORPORATION.

2027年3月期　通期の見通し（8月発表数値から変更なし）

- 売上高・営業利益・経常利益・当期純利益のいずれも、過去最高を更新する見込み
- 売上高は初の6,000億円台、当期純利益は初の120億円台を見込む
- 通期は8月時点の予想を継続するが、足元は想定通りに推移、下期も8月時点の見方から変化はない

（単位：億円）	2026年3月期 実績	2026年3月期 対売上比率	2027年3月期 業績予想（2026/8/6公表）	2027年3月期 対売上比率	前年同期比	
売上高	5,830	－	**6,249**	－	+418	+7.2%
営業利益	169	2.9%	**178**	2.9%	+9	+5.4%
経常利益	186	3.2%	**195**	3.1%	+9	+4.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	119	2.0%	**120**	1.9%	+1	+1.3%

2027年3月期　各報告セグメント売上高見通し（8月発表数値から変更なし）

（単位：億円）	2026年3月期 実 績	2027年3月期 業績予想	2027年3月期 前年同期比	要因
エネルギー	2,796	3,074	+9.9%	販売数量は構造的要因により減少も、原油価格高騰により販売単価が上昇し、増収見込み 政府の燃料油への補助金は、補助縮小も継続する前提
食料	391	393	+0.4%	コスト上昇分の価格転嫁が進む一方、米穀類の価格下落と販売数量伸び悩みにより、前期並み
建設関連	483	566	+17.0%	工事受注の回復により、増収トレンドへ回帰
自動車関連	802	819	+2.0%	国内新車販売とレンタカー事業のいずれも堅調見込み 中東情勢の影響を引き続き注視
海外・貿易	911	949	+4.1%	米国関税政策の業績への影響が一巡し、 今後はインフレや為替の影響も考慮して対策を講じる
ペット関連	144	152	+5.0%	ペット・園芸とも売上高は堅調の見通し
ファーマシー	203	196	△3.9%	事業の筋肉質化（不採算店舗の整理）により、処方箋応需枚数が減少見込み
その他＊	96	100	+3.5%	通期見通しに大きな減収要因は無し

＊ 情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業 等

© KAMEI CORPORATION.

2027年3月期　通期業績予想のポイント　第2四半期決算発表時点（11月12日）の見方

報告セグメント利益の見通し：8月修正予想から変更なし

報告セグメント	評価とコメント	報告セグメント	評価とコメント
エネルギー	→ 前期末の特殊要因が今期は剥落	海外・貿易	↘ 米国関税政策とインフレ等により収益性低下
食料	↘ 原材料高と米価低迷の影響が続く	ペット関連	↘ 経費増による減益見通し
建設関連	↗ 受注高回復により増益トレンドへ	ファーマシー	↘ 収益力改善に向け、事業構造改革を加速
自動車関連	→ 新車販売とレンタカー共に好調維持	その他	→ 各事業とも堅調見通し

為替の前提条件　1ドル＝１６０円（前期は　1ドル＝１５０円）

＊8月修正予想時点の見通しから変更なし

原油価格の前提条件　ドバイ原油＝１００ドル／bbl（前期は　７２ドル／bbl）

＊8月修正予想時点の見通しから変更なし

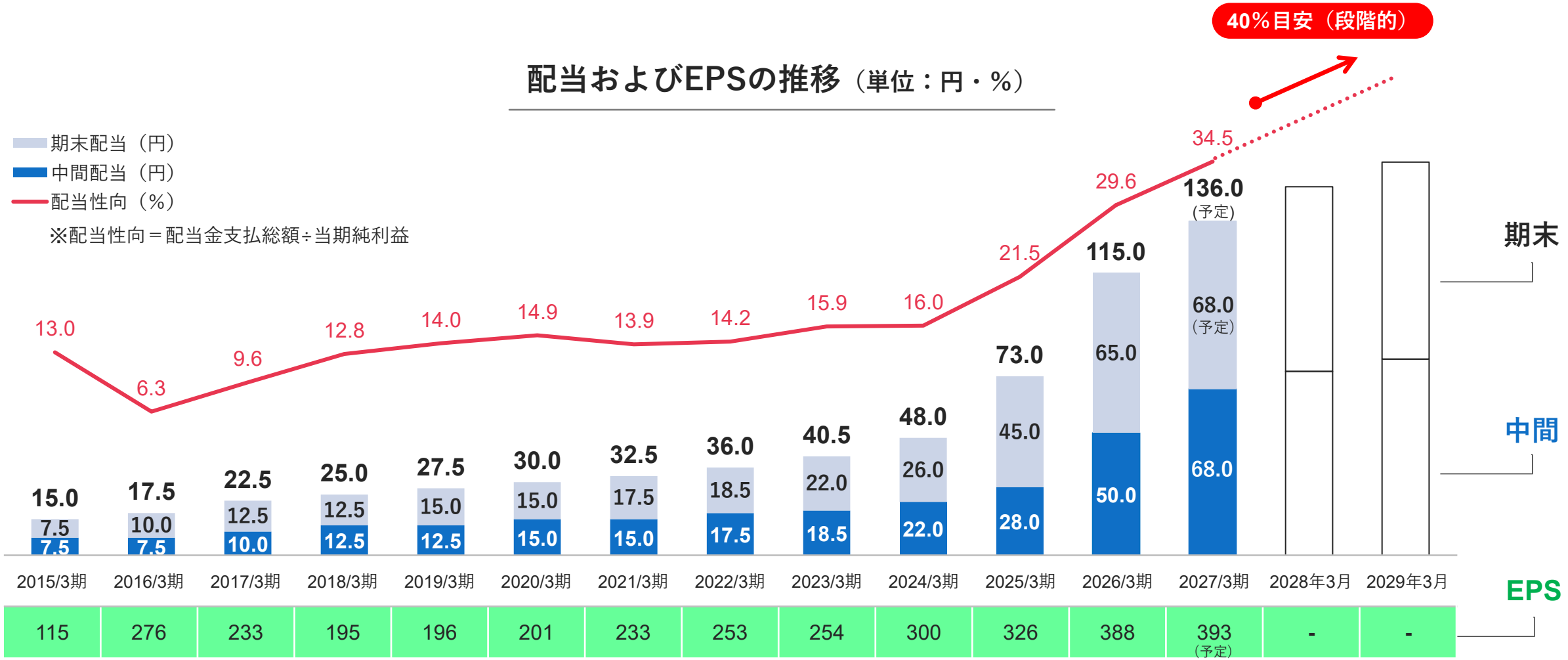
配当額：年間 １３６円（中間 ６８円＋期末 ６８円）（予定）

＊8月修正予想時点の見通しから変更なし

© KAMEI CORPORATION.

株主還元方針（8月発表数値から変更なし）

- ①「累進配当」と、②「配当性向30%目安から段階的に40%目安への引き上げ」を基本とする
- 2027年3月期：年間136円/株（中間配当68円、期末配当68円）の予定に変更なし　（12期連続増配の見込み）



03　2027年3月期 第2四半期 最新トピックス



KAMEI

© KAMEI CORPORATION.

グループ筋肉質化の取り組みについて

・8月末に、国内でワインの輸入販売を手掛ける「アグリ㈱」を営業終了、清算へ

・同じく8月末に、ベトナムでワインの輸入販売を手掛ける子会社4社を営業終了、清算へ

・いずれの会社も近年、事業環境の変化等により業績が低迷しており、今回の措置は

　今後のグループ収益性の改善に寄与

西暦／月	企業名
2026年8月	アグリ（食料事業）営業終了
	KVJグループ（海外・貿易事業）営業終了

10月の新TOPIX後も対象銘柄として選定されました

© KAMEI CORPORATION.

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、
既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、
これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。
従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、
利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

カメイ株式会社

2026年11月

東証プライム
8037

© KAMEI CORPORATION.